

平成20年2月8日

会 社 名 : 株式会社 中山製鋼所
(URL <http://www.nakayama-steel.co.jp/>)
代表者名 : 代表取締役社長 藤井 博務
コード番号 : 5408 (東証、大証 各1部)
問合せ先 : 経理部長 松岡 雅啓
(TEL (06) 6555 - 3035)

平成20年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年11月8日に公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期の決算の見通しにつきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

[1] 平成20年3月期 通期業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	連 結 決 算				単 独 決 算			
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	210,000	5,600	4,000	200	145,000	2,000	700	1,400
今回修正予想 (B)	208,000	3,800	2,300	700	145,000	1,400	0	1,300
増減額 (B - A)	2,000	1,800	1,700	500	0	600	700	100
増減率 (%)	(1.0)	(32.1)	(42.5)	(-)	(0.0)	(30.0)	(-)	(-)
< ご参考 >								
前期実績 (平成19年3月期)	197,153	6,346	5,079	1,282	130,598	1,903	506	17

[2] 修正の理由

鉄スクラップをはじめとする原材料価格の上昇に伴い、鋼材販売価格の見直しを進めてまいりましたが、国内建材市場における建築基準法改正の影響により、特に第4四半期については販売価格の上昇が鈍化し、単体損益が上記の通り修正を余儀なくされました。

また、連結決算につきましても、建築用鋼材のメーカーである中山三星建材(株)をはじめとする鉄事業関連子会社において、大幅な出荷減と販価上昇の鈍化をきたし、減収、減益となる見通しであります。

なお、当期純利益につきましては、中期関連既存設備の活用方針の具体化により、減損想定額を見直しております。

このような状況を踏まえ通期の業績につきまして、上記のとおり修正いたします。

なお、配当につきましては、当初の予定通り期末配当3円を実施させていただく予定でございます。

上記の見通しは本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上